

ワークスペースとは

「ワークスペース」とはリボン・ボタンなどが配置された操作画面のことで、AutoCAD では、自分の作業内容にあった操作画面を作成・保存することが可能です。

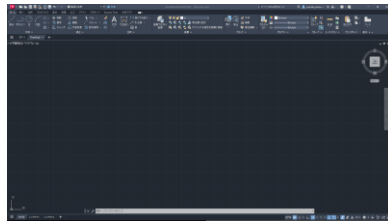
■ 既存のワークスペースと その切り替え方法

AutoCAD 2025 では、既定のワークスペースとして下記3つのワークスペースが用意されています。

- ・ 製図と注釈
- ・ 3D 基本
- ・ 3D モデリング

これらは、「WSCURRENT」コマンド、クイックアクセスツールバーの「ワークスペース」、ステータスバー右横のコントロール「ワークスペースの切り替え」釦などで、確認／切替／新規作成などが可能になっています。
ワークスペースを切り替えると、リボン表示が切り替わることが容易に確認できると思います。

ワークスペース切り替えの動画です



クリック
動画が再生されます

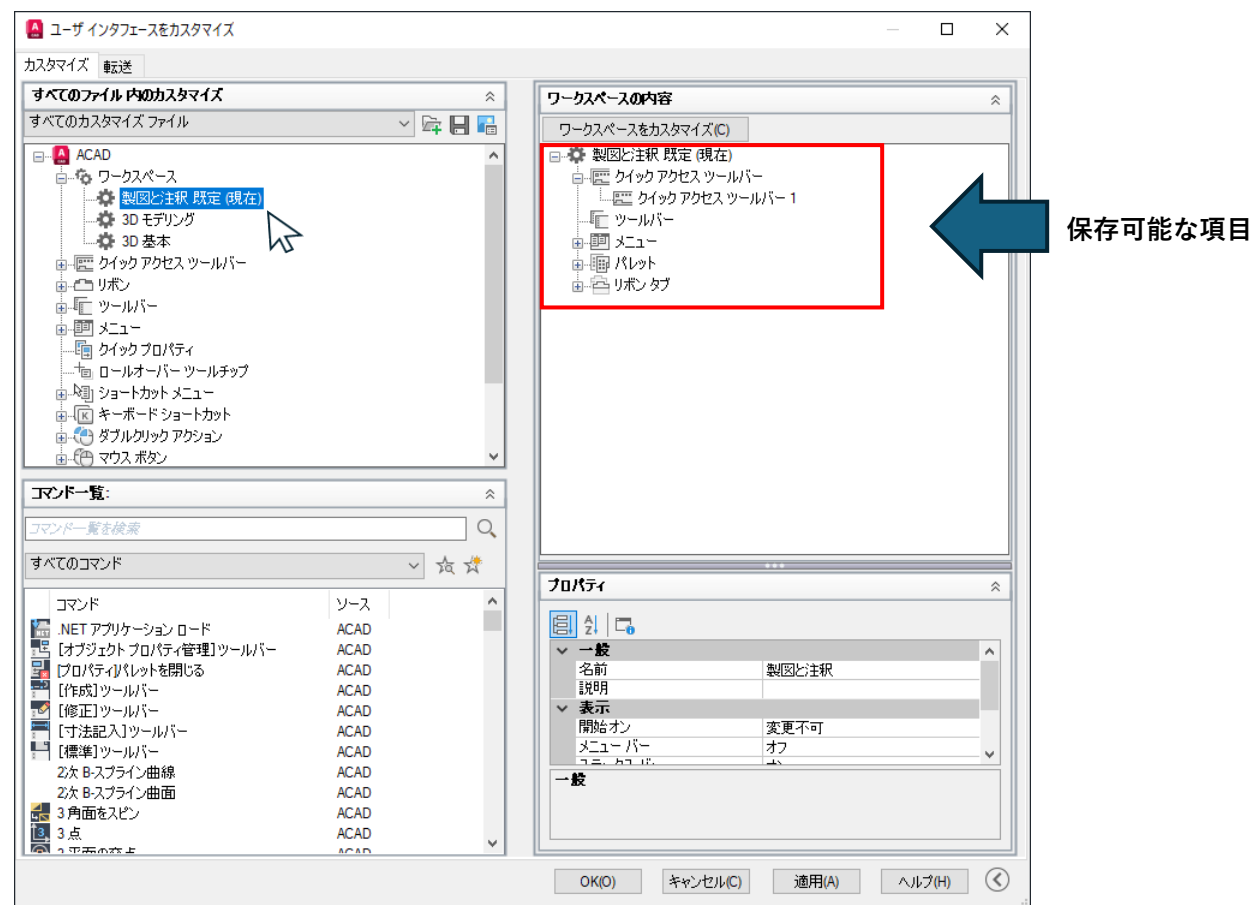
動画の説明

- ① クイックアクセスツールバーにワークスペースを表示します
- ② クイックアクセスツールバーからワークスペースを切り替えます
- ③ ステータスバー右横のワークスペース切替ボタンからワークスペースを切り替えます。
- ④ 「WSCURRENT」コマンドを用いてワークスペースを切り替えます。

■ ワークスペースに保存可能な項目

ユーザ インタフェースをカスタマイズ ダイアグラムにて、ワークスペースをカスタマイズ に移行すると、下記のように表示されます。このことから、ワークスペースに記憶可能なコントロールは以下であるといえます。

- ① クイックアクセスツールバー
- ② ツールバー
- ③ メニュー
- ④ パレット
- ⑤ リボンタブ



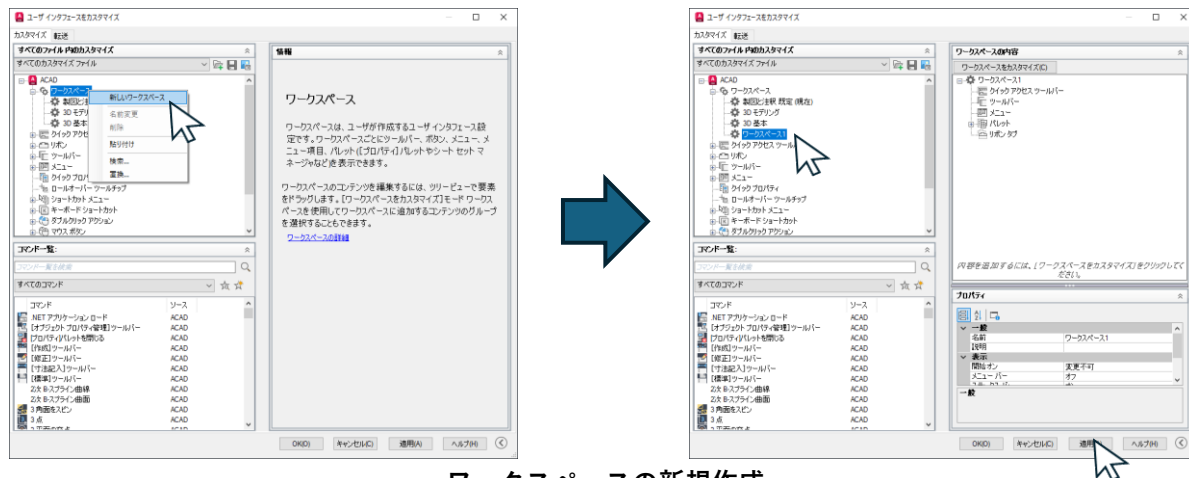
ワークスペースのカスタマイズ

■ 自分用のワークスペースを作る

既存のワークスペースに変更を加えることもできますが、ここでは、新しく名前を付けたワークスペースを追加作成してみましょう

① 新規作成

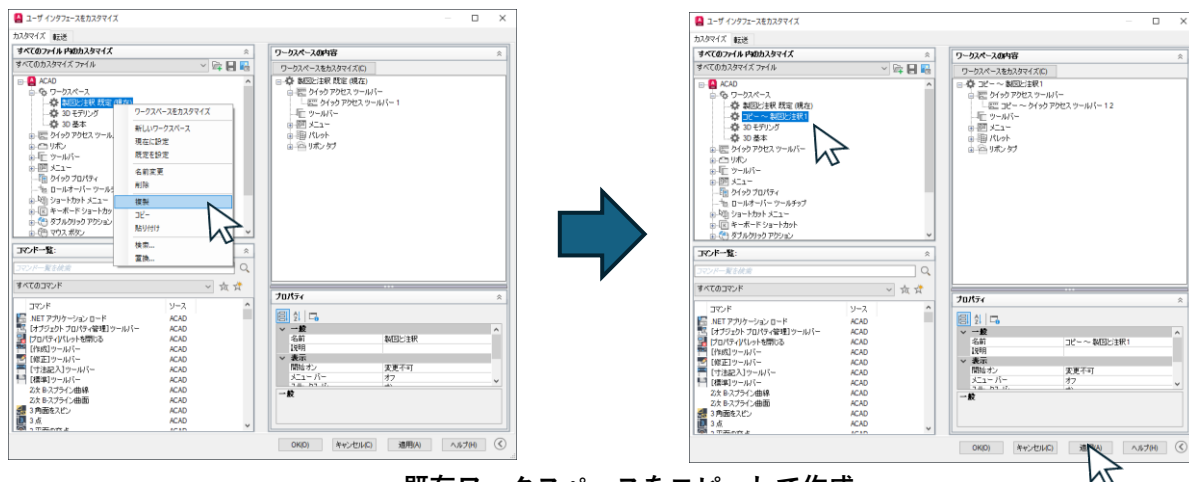
「ユーザ インタフェースのカスタマイズ」ダイアログにて、「ワークスペース」を右クリックし「新しいワークスペース」を選択すると「ワークスペース 1」が作成されます。あとは、任意の名前に変更して「適用」鉤にて保存して使用しましょう。



ワークスペースの新規作成

② 既存のワークスペースをコピーして作成

例えば「製図と注釈」を右クリック「複製」、または「コピー」 & 「貼り付け」にて「コピー～製図と注釈 1」が作成されます。あとは、任意の名前に変更して「適用」鉤にて保存して使用しましょう。



既存ワークスペースをコピーして作成

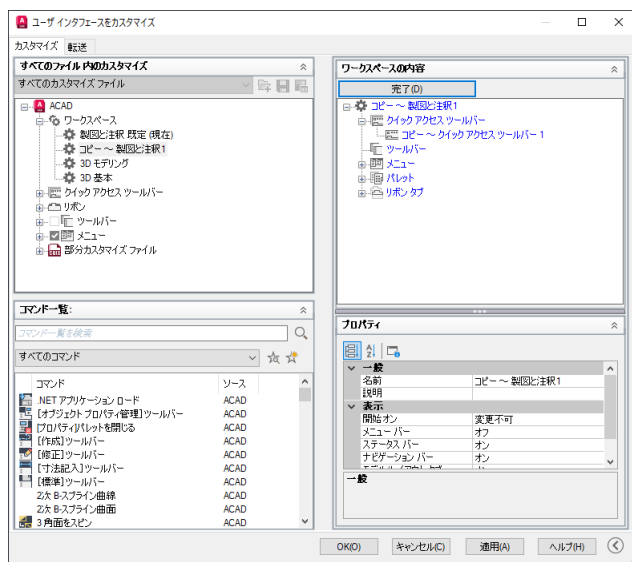
■ ワークスペースカスタマイズの操作方法について

ワークスペースのカスタマイズは、基本的に「ユーザ インタフェースをカスタマイズ」ダイアログの「ワークスペースをカスタマイズ」ペインに記された内容を編集することで行います。

操作方法としては、まず、「ワークスペースをカスタマイズ」鈕をクリックしてカスタマイズモードに入り、「ワークスペースをカスタマイズ」ペインの文字が青色表示になっている状態で編集を加え「完了」鈕で保存されるようです。

ところが、カスタマイズモードでない（青色表示でない）状態で編集を加えても、「適用」鈕をクリックすることで問題なく編集は反映されるようです。

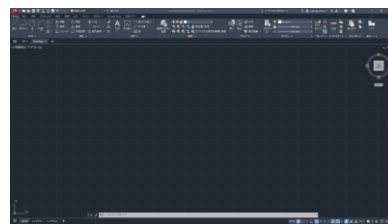
逆に、「完了」鈕では完全に編集が保存されていないようで、「完了」後に「OK」鈕でなく「×」鈕にてダイアログを閉じようとする、と、「行った変更はまだ保存されていません。・・・」の警告が表示されてしまいます。



ワークスペースのカスタマイズモード

また、項目によってはカスタマイズモードでしかできない場合、逆に、カスタマイズモードではできない場合もあるようですので、そのあたりにも触れながら説明するように心がけます。

この様子を動画で確認してみましょう



クリック
動画が再生されます

動画の説明

- ① 「CUI」コマンドにて「ユーザ インタフェースをカスタマイズ」ダイアグラムを表示
- ② ワークスペース「MyWS」のカスタマイズモードに入る
- ③ リボンタブ「Express Tools」を移動して「完了」鈕をクリック
- ④ 「×」鈕にてダイアグラムを閉じようすると警告が表示される
- ⑤ カスタマイズモードではないが「適用」鈕にてカスタマイズが正常に反映される

■ ワークスペースカスタマイズの操作方法について（つづき）

ワークスペースのカスタマイズは、基本的になて行うのですが、クイックアクセスツールバーの表示内容や、リボンタブ／パネルの表示／非表示など、操作画面を直接カスタマイズする方法も存在します。

この「ユーザ インタフェースをカスタマイズ」ダイアログを使用しないで変更したものはアプリケーションにて記憶しないようで、記憶させるためには以下の手順が必要となります。

① 「ワークスペース設定」ダイアログのラジオ釦「ワークスペースの変更を自動的に保存」を選択する

「WSSETTING」コマンド、または、「クイックアクセスツールバー」→「ワークスペース」コンボボックス → 「プルダウンメニュー」 → 「ワークスペース設定」、または、「ステータスバー」右横の「ワークスペース」釦 → 「ワークスペース設定」にて「ワークスペース設定」ダイアグラムを表示し、ラジオ釦にて「ワークスペースの変更を自動的に保存」を選択することで、変更したワークスペースは自動的に保存されるようになります。

② 「ワークスペース設定」ダイアログのラジオ釦「ワークスペースの変更を自動的に保存」を選択する

以降の説明は、ワークスペース「製図と注釈」を「複製」して作成したワークスペース「MyWS」を例にして説明します。

■ 「クイックアクセス ツールバー」をカスタマイズする（1／5）

① 名称の変更

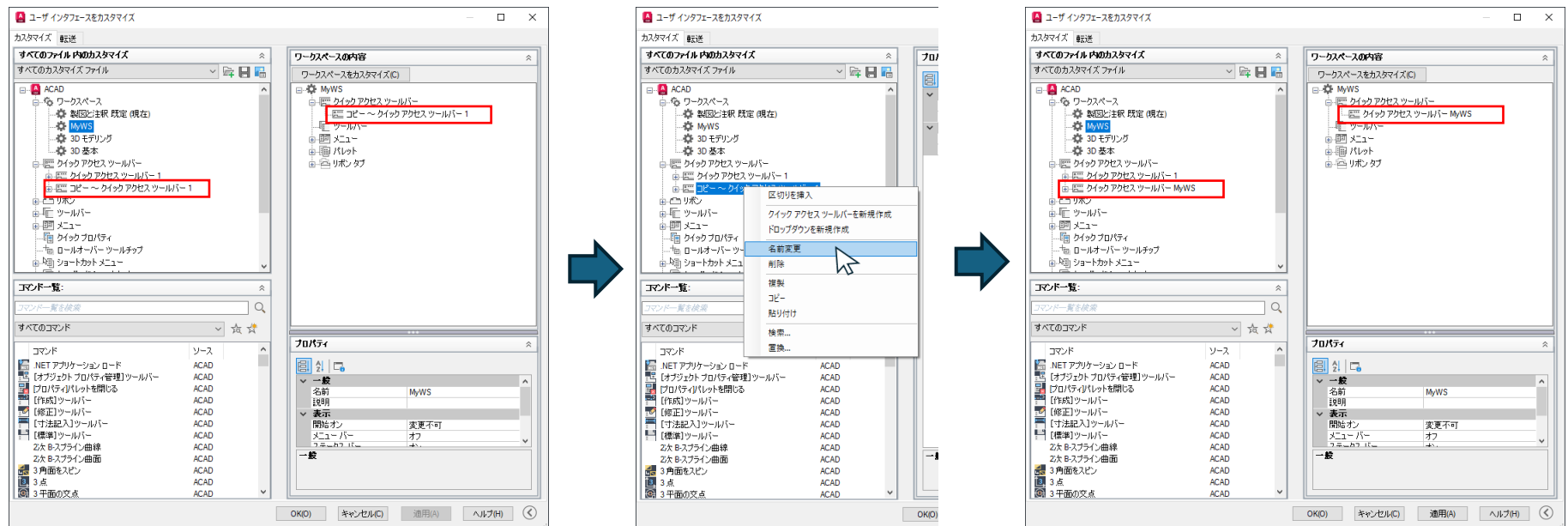
「ユーザーインターフェースをカスタマイズ」ダイアログは、左側にAutoCADアプリケーションの所有する全データ、右側に「MyWS」に記憶されたワークスペースデータを表示しています。

ここで「MyWS」のクイックアクセスツールバーの名称は「コピー ～ クイックアクセスツールバー 1」になっていることがわかります。このままでもよいのですが、名称を「クイックアクセスツールバー MyWS」に変更してみましょう。

「すべてのカスタマイズファイル」ペインにて「コピー ～ クイックアクセスツールバー 1」の名前変更（右クリックメニュー）を選択、名称を「クイックアクセスツールバー MyWS」に変更することで、「ワークスペースをカスタマイズ」ペインの表示も同様に変更されます。

「適用」釦にて変更を保存します。

※ カスタマイズモードでは、名称の変更はできないようです。

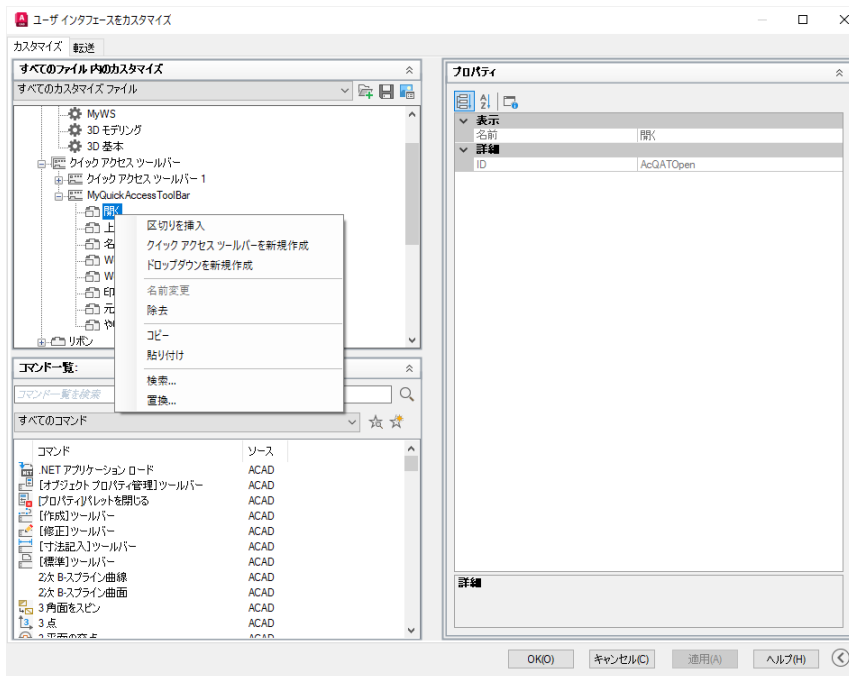


クイックアクセスツールバーの名称変更

■ 「クイックアクセス ツールバー」をカスタマイズする（2／5）

② 項目の追加／削除など

名称の変更同様に、カスタマイズモードで項目の追加／削除はできないようです。
作成した「クイックアクセスツールバー MyWS」のカスタマイズは、「すべてのカスタマイズファイル」ペインにて行います。



クイックアクセスツールバーの項目カスタマイズ

操作画面上にてワークスペースを「MyWS」に切り替えると、クイックアクセスツールバーが作成されているのが確認できます。同時に、「製図と注釈」など他のワークスペースに影響していないことも確認できると思います。



クイックアクセスツールバーの表示例

以下に示すカスタマイズが可能です。

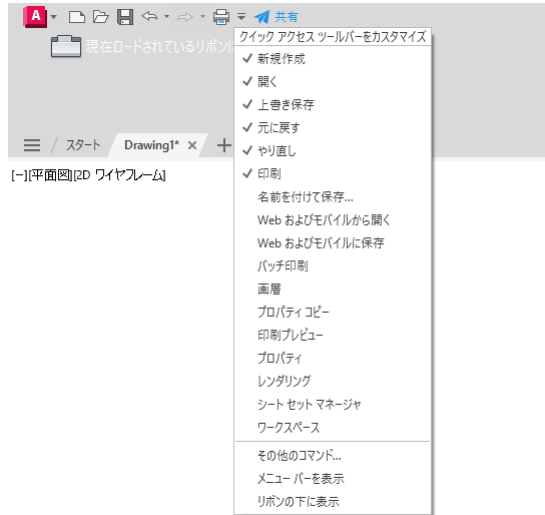
- ① **追加**
ダイアログ左下の「コマンドペイン（窓）」から コマンドを「コピー」して「貼り付け」、または、ドラッグ&ドロップして追加します。
- ② **除去**
ツールバーから指定のコマンドを削除します
- ③ **名前変更**
コマンドの名前を変更？ あまり使わない？
- ④ **区切り線挿入**
コマンドとコマンドの間に区切りの線を表示します。
- ⑤ **ドロップダウン作成**
- ⑥ **表示順の変更**
ドラッグ&ドロップにて変更します。

いずれも、「適用」鈕を忘れずに！！

■「クイックアクセス ツールバー」をカスタマイズする（3／5）

② 項目の追加／削除など（つづき）

クイックアクセスツールバーの項目追加／削除は、操作画面クイックアクセスツールバーを直接操作してカスタマイズすることができますし、むしろこのほうが、操作が簡単だと思います。

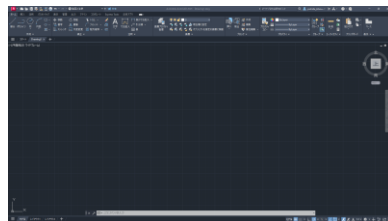


クイックアクセスツールバーの項目追加／削除は、操作画面クイックアクセスツールバーを直接操作してカスタマイズすることができます。

項目の追加／削除はこちらのほうが操作しやすいと思いますが、項目の順序入れ替えや区切りの挿入など、「ユーザインタフェースをカスタマイズ」ダイアグラムからではできない機能もあるので使い分けるとよいでしょう。

「クイックアクセスツールバー」のカスタマイズ

参考までに クイックアクセスツールバーのカスタマイズの様子をご覧ください。



 クリック
動画が再生されます

動画の説明

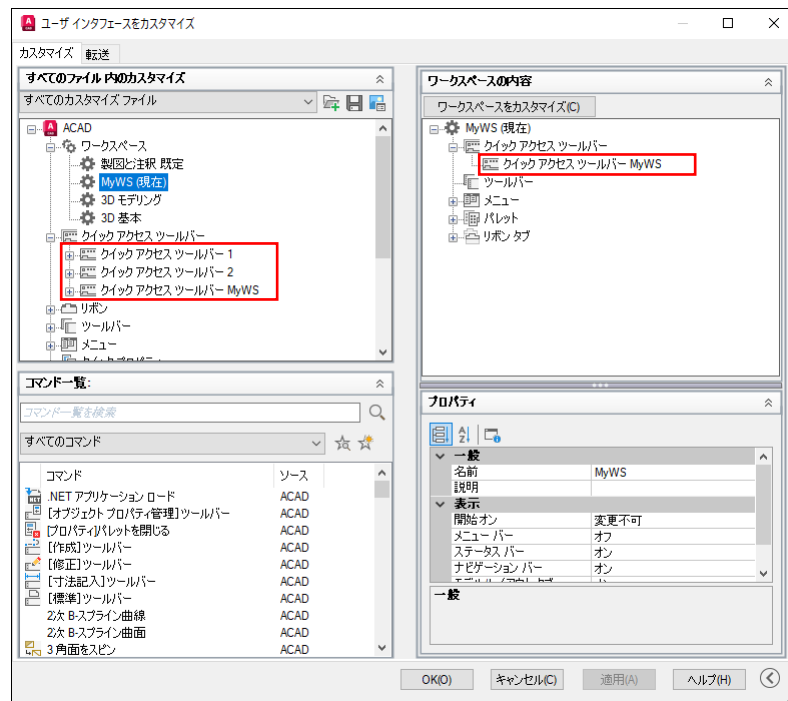
- ① 「ユーザ インタフェースをカスタマイズ」ダイアグラムを表示します
- ② クイックアクセスツールバー表示が、「カスタマイズファイル」ペインの「MyQuickAccessToolBar」と一致していることを確認しています。
- ③ クイックアクセスツールバーに「新規作成」を追加します。
- ④ 「新規作成」を先頭に移動します。
- ⑤ 「上書き保存」と「元に戻す」の間に区切りを入れています。
- ⑥ 「ワークスペース」を追加して移動しています
- ⑦ 「コマンド」ペインから「ズーム オブジェクト範囲」をコピーして「MyQuickAccessToolBar」にペーストしています。

■ 「クイックアクセス ツールバー」 をカスタマイズする（4 / 5）

クイックアクセスツールバーのセットをそのまま入れ替える機能もあります。

下図のように、クイックアクセスツールバーのセットとして「クイックアクセスツールバー 1」「クイックアクセスツールバー 2」「クイックアクセスツールバー 2」の3種類のクイックアクセスツールバーがあったとします。

この時、「MyWS」のクイックアクセスツールバーを「クイックアクセスツールバー MyWS」から「クイックアクセスツールバー 1」など任意のバーに変更することが可能です。



「クイックアクセスツールバー」の入れ替え

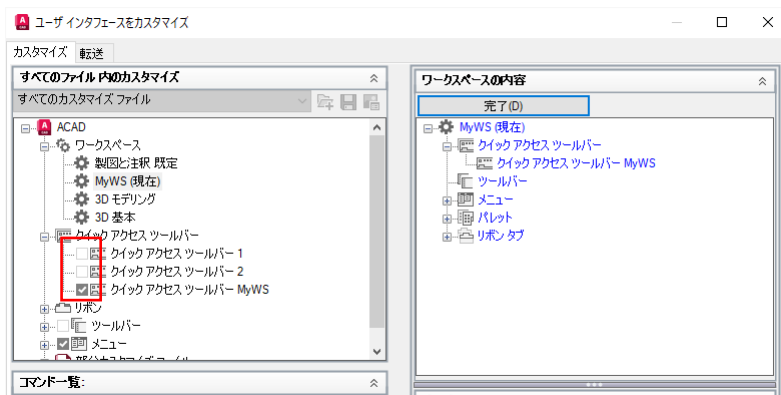
■ 「クイックアクセス ツールバー」 をカスタマイズする（5 / 5）

① カスタマイズモードから

「ワークスペースをカスタマイズ」 釦をクリックしてカスタマイズモードに入ります。

この時、「すべてのカスタマイズファイル」ペインの個々のクイックアクセスツールバーの左横にチェックボックスが表示されますので、任意のクイックアクセスツールバーをチェックし「完了」→「OK」、または「完了」→「適用」にて更新されます。

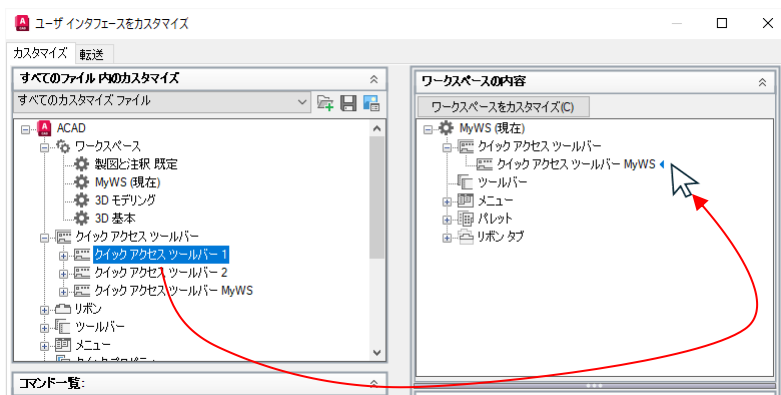
チェックボックス



カスタマイズモードにて「クイックアクセスツールバー」の入れ替え

② ドラッグ&ドロップにて

「すべてのカスタマイズファイル」ペインから「ワークスペースをカスタマイズ」ペインに、任意のクイックアクセスツールバーをドラッグ&ドロップすることでも可能です。（「適用」釦は必要です。）



ドラッグ&ドロップにて「クイックアクセスツールバー」の入れ替え

■ 「ツールバー」をカスタマイズする（1／2）

「製図と注釈」ワークスペースには、登録された「ツールバー」はありませんので、「MyWS」にも登録された「ツールバー」は無いと思います。

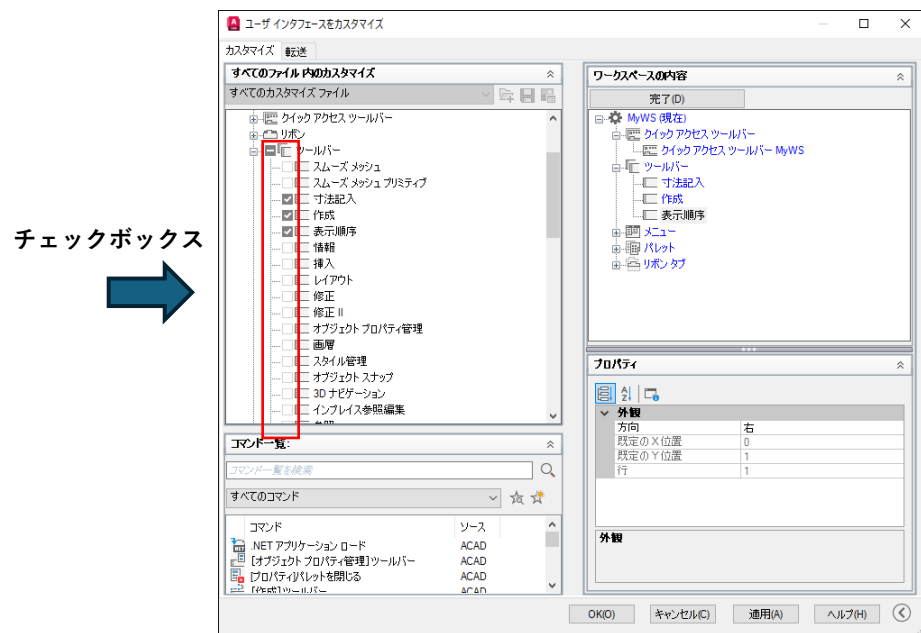
① カスタマイズモードから

「ワークスペースをカスタマイズ」釦をクリックしてカスタマイズモードに入ります。

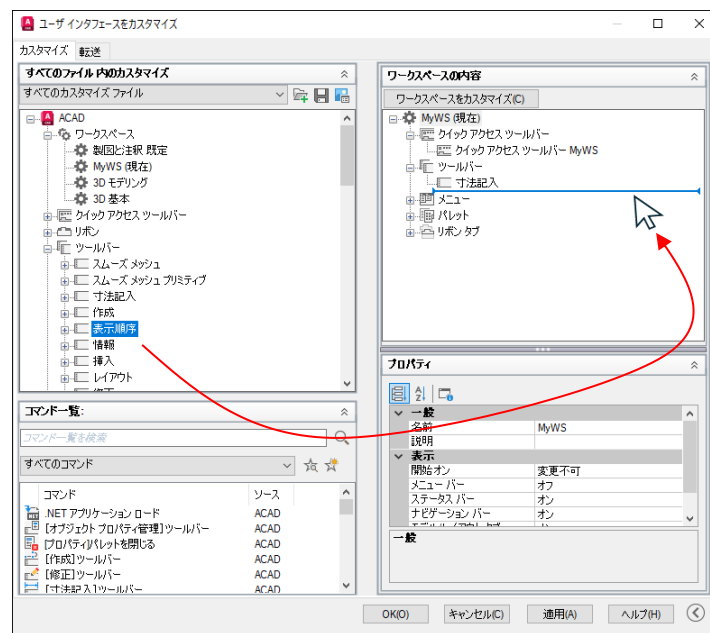
この時、「すべてのカスタマイズファイル」ペインの個々のツールバー左横にチェックボックスが表示されますので、表示したいツールバーをチェックして「完了」→「OK」、または、「完了」→「適用」にて更新されます。

② ドラッグ&ドロップで追加、右クリックにて削除

「すべてのカスタマイズファイル」ペインから、「ワークスペースをカスタマイズ」ペインにドラッグ&ドロップにて追加、「ワークスペースをカスタマイズ」ペインにて「右クリック」→「ワークスペースから削除」にて削除します。（「適用」釦、必須。）

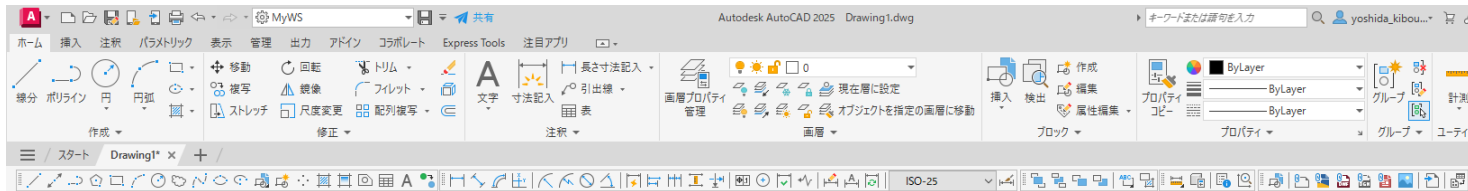


① カスタマイズモードで「ツールバー」を編集



■ 「ツールバー」をカスタマイズする（2／2）

操作画面上に表示されたツールバーは、自由に移動可能です。

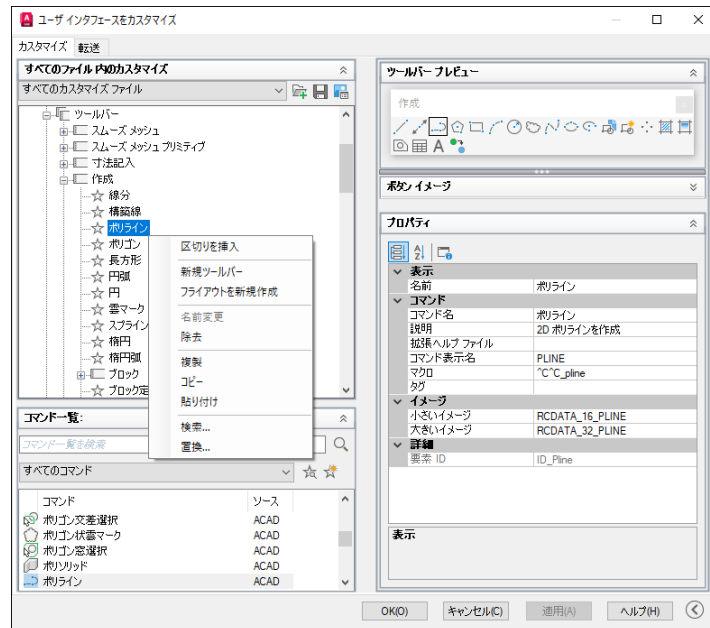


配置された「ツールバー」の例

【個々のツールバーのボタン配置のカスタマイズについて】

個々のツールバーの中身、鈕（コマンド）の種類や並びを変更することも、操作上 可能なようです。

ですが、これは「ACAD」側でしか行えず「MyWS」側では行えないため 変更内容はすべての ワークスペースに影響しますのであまりお勧めしません。



「ツールバー」内のコマンドをカスタマイズ

左図は、「すべてのカスタマイズファイル」ペインにて、ツールバーの「作成」→「ポリライン」→「右クリック」をした状態の図です。

右クリックメニューには、「除去」「複製」「コピー」「貼り付け」「区切りを挿入」などがありツールバーのカスタマイズが可能になっています。

■ 「メニューバー」をカスタマイズする（1／2）

メニューバーもツールバー同様の操作方法です。（異なるのは、ツールバーには、一つもチェックが入っていなかったのに対して、メニューバーには、すべてのメニューにチェックがついているところです。）

① カスタマイズモードから

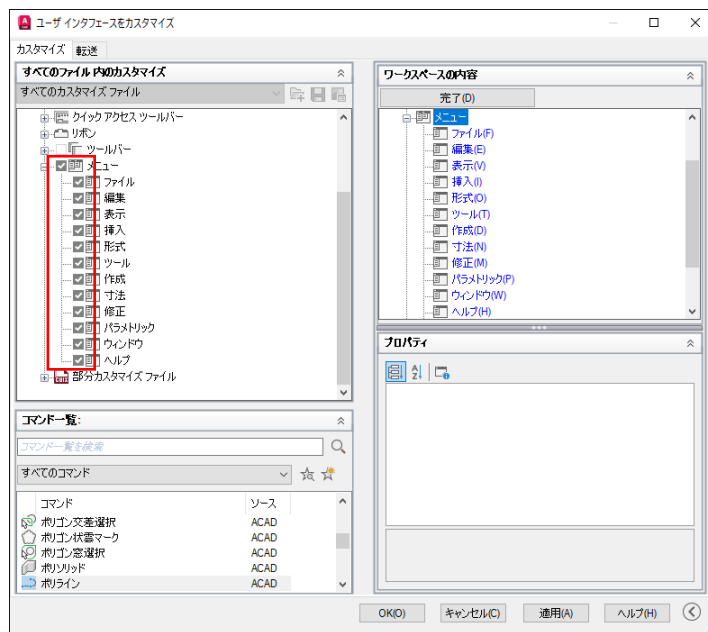
「ワークスペースをカスタマイズ」釦をクリックしてカスタマイズモードに入ります。

この時、「すべてのカスタマイズファイル」ペインの個々のメニュー左横にチェックボックスが表示されますので、表示したいメニューをチェックして「完了」→「OK」、または、「完了」→「適用」にて更新されます。

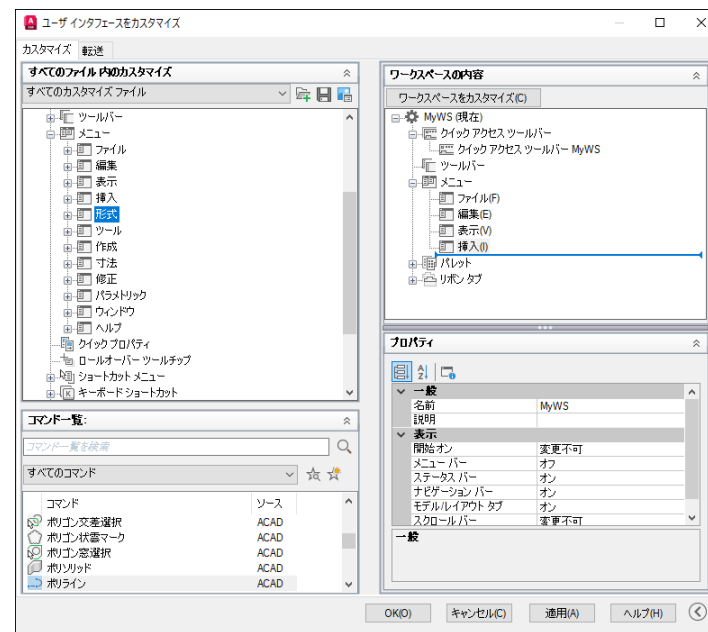
② ドラッグ&ドロップで追加、右クリックにて削除

「すべてのカスタマイズファイル」ペインから、「ワークスペースをカスタマイズ」ペインにドラッグ&ドロップにて追加、「ワークスペースをカスタマイズ」ペインにて「右クリック」→「ワークスペースから削除」にて削除します。（「適用」釦、必須。）

チェックボックス



① カスタマイズモードで「メニューバー」を編集



② ドラッグ&ドロップにて「メニューバー」を編集

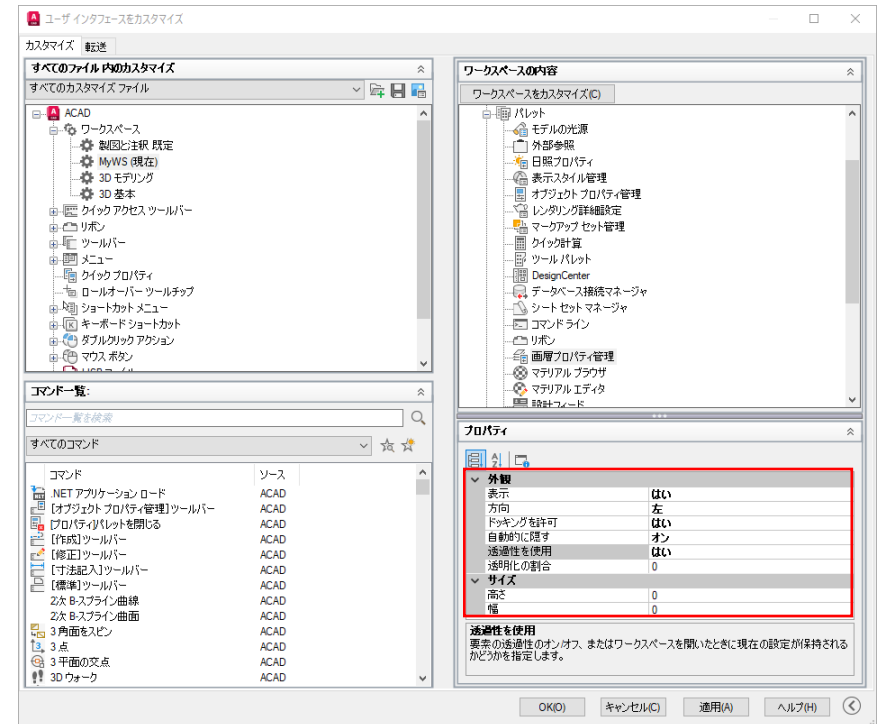
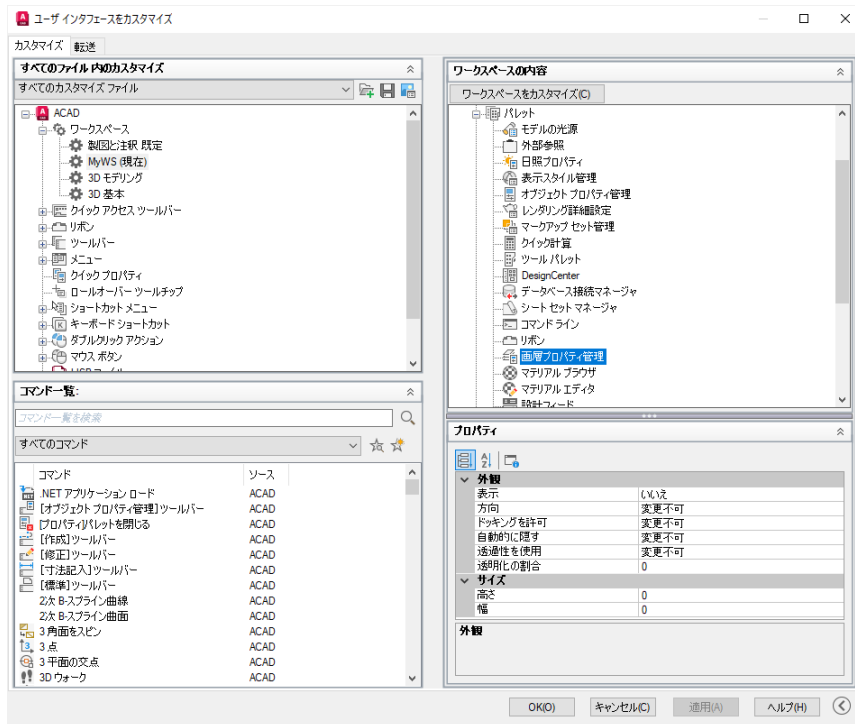
■ 「パレット」をカスタマイズする（1／2）

パレットのカスタマイズは、少し趣が異なります。
ワークスペースを作成すると 新規であってもすべてのパレットが登録されています。

カスタマイズする項目は、そのパレットをワークスペース上でどのように表示するかの初期状態を設定します。

例えば、ワークスペースを「MyWS」に切り替えたときの「画層プロパティ管理」パレットを以下の様な状態にて表示させたいときを考えます。

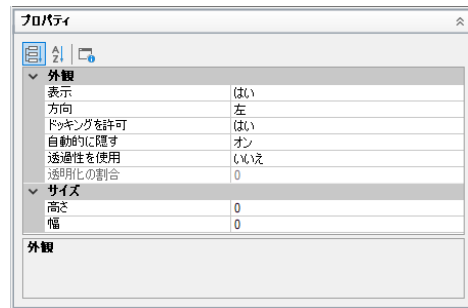
- ・表示オン
- ・左側にドッキング
- ・自動的に隠す
- ・透過性は使用しない



「パレット」のカスタマイズ

■ 「パレット」をカスタマイズする（2／2）

ワークスペースを切り替えたときの状態を設定します

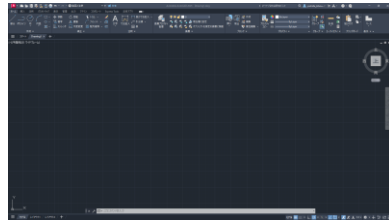


パレットのプロパティ

[表示]：はい
[方向]：左
[ドッキングを許可]：はい
[自動的に隠す]：はい
[透過性を使用]：いいえ
[透明化の割合]：0
[高さ]：0
[幅]：0

パレットを表示状態にします
パレットの位置を左に指定します
パレットのドッキングを許可します
パレットを上でカーソルがない場合、パレットを閉じます
パレットの透過性を無効にします
透過性を使用していないので無効な値です
パレットの高さを直近の値とします ※「0」の場合は現在の値を維持
パレットの幅を直近の値とします ※「0」の場合は現在の値を維持

上記設定時の「画層プロパティ管理」パレットは、こんな感じになります。



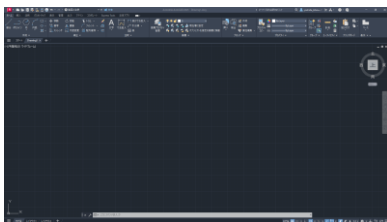
クリック
動画が再生されます

■ 「リボン」をカスタマイズする（1／6）

「リボンタブ」のカスタマイズも、「メニュー」や「パレット」のカスタマイズと同様「ユーザ インタフェースのカスタマイズ」ダイアログにて行えます。

が、リボンタブの表示／非表示と表示順、および、リボンタブ内のパネルの表示／非表示と表示順のカスタマイズのみであれば、「リボン」を直接操作することで行うことができます。

リボンの表示／非表示と表示順変更の動画です

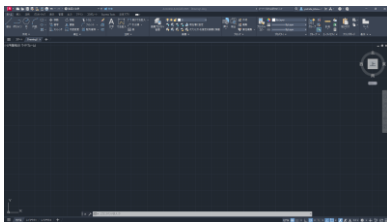


クリック
動画が再生されます

動画の説明

- ① 「3Dツール」 リボンを表示します。
- ② 「Express Tools」 リボンを非表示にします。
- ③ 「挿入」 リボンを移動します。
- ④ 上記変更を現在のワークスペース「MyWS」に上書き保存します。
- ⑤ ワークスペース「製図と注釈」に影響していないことを確認しています。

リボン内パネルの表示／非表示と表示順変更の動画です



クリック
動画が再生されます

動画の説明

- ① 「画層」 パネルを非表示にします。
- ② 「作成」 パネルを移動します。
- ③ 上記変更を現在のワークスペース「MyWS」に上書き保存します。
- ④ ワークスペース「製図と注釈」に影響していないことを確認しています。

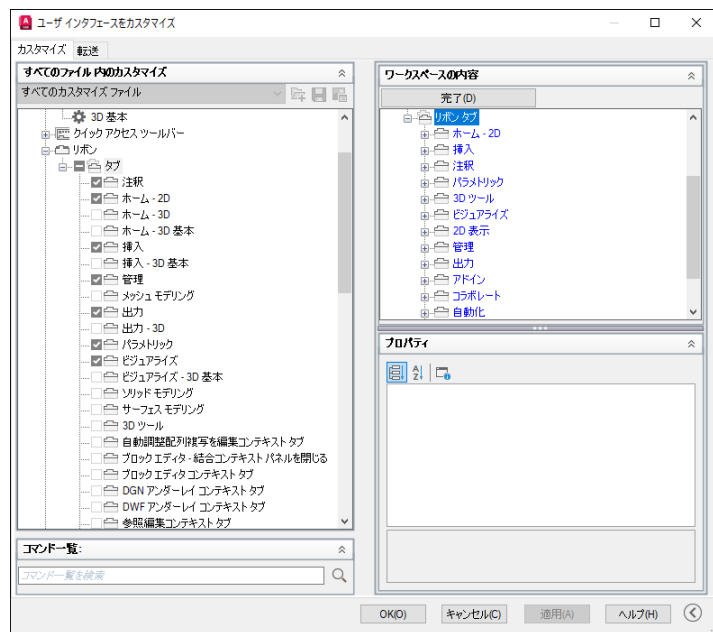
■ 「リボン」をカスタマイズする（２／６）

次に、「ユーザ インタフェースをカスタマイズ」ダイアログにて可能な、「リボン」タブのカスタマイズを説明します。

① カスタマイズモードからタブの追加／削除

「ワークスペースをカスタマイズ」鈕をクリックしてカスタマイズモードに入ります。

この時、「すべてのカスタマイズファイル」ペインの個々のリボンタブの左横にチェックボックスが表示されますので、任意のタブをチェックし「完了」→「OK」、または「完了」→「適用」にて更新されます。



カスタマイズモードでの「リボン」のカスタマイズ

カスタマイズモードにて可能なリボンのカスタマイズは上記のタブの追加／削除のみのようです。以降の説明は、カスタマイズモードに入らずに行うものになります。

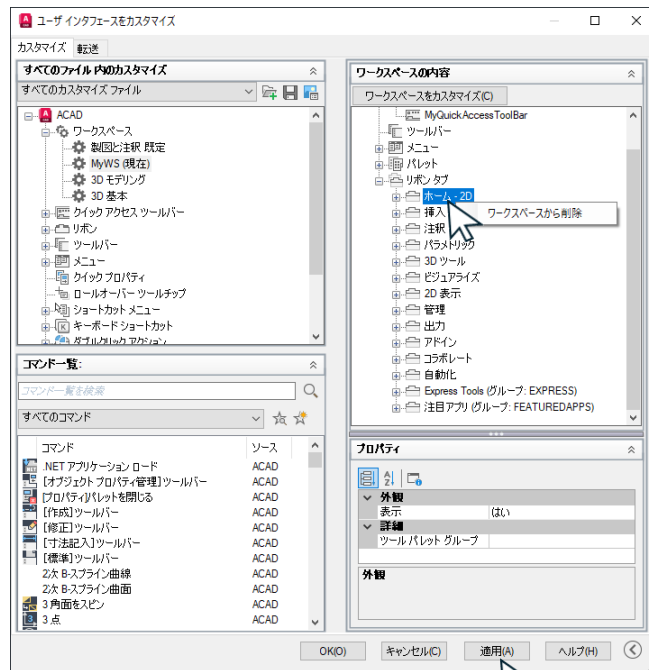
■ 「リボン」をカスタマイズする（3／6）

② 右クリックによる削除

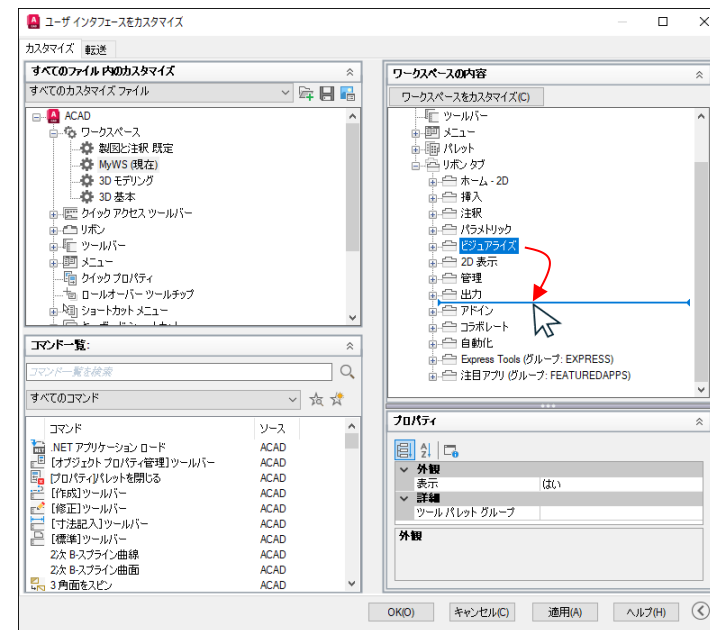
「ワークスペースをカスタマイズ」ペインにてタブ名を右クリックし「ワークスペースから削除」→「適用」にてリボンタブを削除します。（「DEL」キー→「適用」でもOK）

③ ドラッグ&ドロップによる順序変更

「ワークスペースをカスタマイズ」ペイン内で、任意の「リボン タブ」をドラッグ&ドロップして順序を入れ替えることで、リボンタブの表示順を変更することが可能です。



② 右クリックによる削除

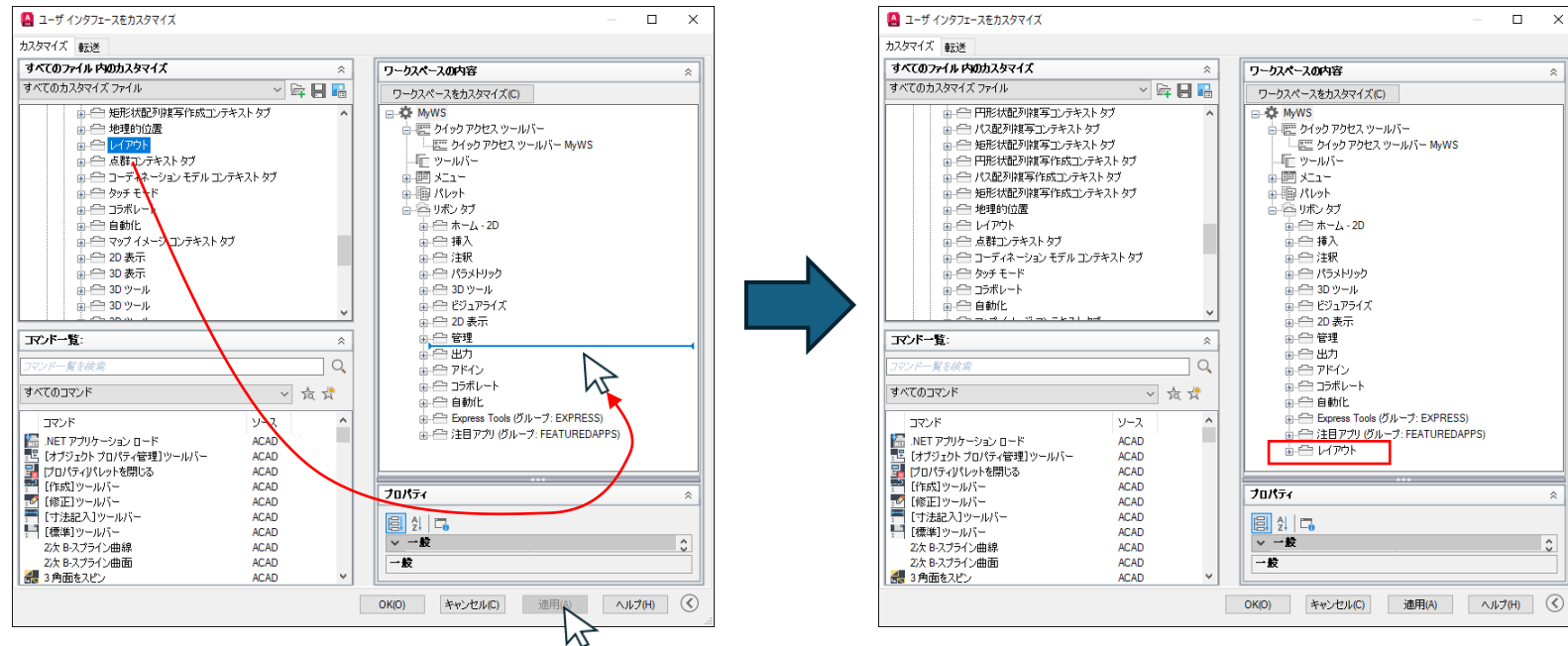


③ ドラッグ&ドロップによる順序変更

■ 「リボン」をカスタマイズする（４／６）

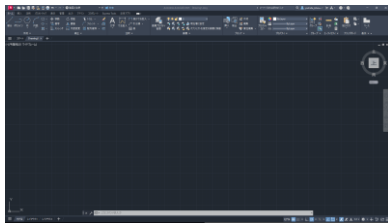
④ ドラッグ＆ドロップによる追加

「すべてのカスタマイズファイル」ペインからタブ名をドラッグし、「ワークスペースをカスタマイズ」ペインにドロップ → 「適用」でリボンタブが追加できます。（必ず、一番後ろに追加されるようです。リボンタブを展開して各リボンを表示し、挿入位置を指定しても、追加されるのは一番後ろになります。）



③ ドラッグ＆ドロップによる追加

ドラッグ＆ドロップによる追加の動画です

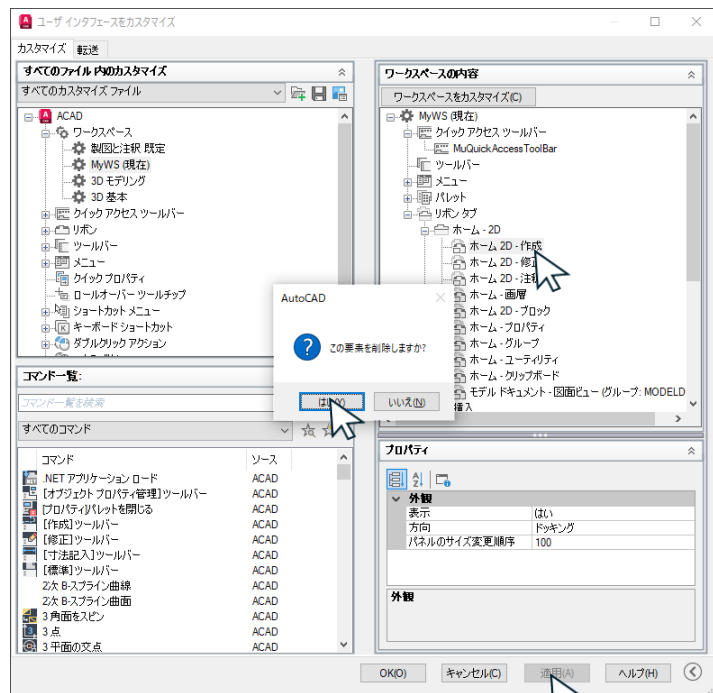


クリック
動画が再生されます

■ 「リボン」をカスタマイズする（5／6）

⑤ リボン内「パネル」の削除と移動

「ワークスペースをカスタマイズ」ペインにて、リボン内のパネル削除、および、移動が可能です。
削除は、ダブ名を選択して「DEL」キー（右クリックにてショートカットメニューは表示されないようです。）、移動は、パネル名のドラッグ&ドロップにて行います。最後に、「適用」にて状態を保存します。



リボン内のパネルの削除

リボンタブの削除と同様に、「削除」は非表示にするわけではなくワークスペースから削除してしまいますので注意が必要です。
さらに、「すべてのカスタマイズファイル」ペインからドラッグ&ドロップにてパネルを追加することはできないので 削除したパネルをもとに戻すには、一度「ワークスペースをカスタマイズ」ペイン側の該当のパネルを追加したいリボンタブを削除して、「すべてのカスタマイズファイル」ペインから元のリボンタブを再度追加するしかなさそうです。
特別な理由がない限り、ワークスペースからパネルの削除は行わず、前述の表示／非表示機能を用いたほうがよさそうです。

■ 「リボン」をカスタマイズする（6／6）

⑥ より高度なカスタマイズ

さらに高度なカスタマイズとして、以下の様なものが考えられます。

- ・ 自作のコマンドをリボンに配置
- ・ よく使用するパネルのみを一つのリボンタブに集約
- ・ 画層コンボボックスの幅を広げてより長い画層名（文字列）を表示可能に
などなど

これらについては、別途、説明していきたいと思います。